

# アジア地域における液状廃棄物の適正管理のための制約条件の類型化および代替システムの評価

## 1. アジア諸都市での地域に基づいた衛生管理制約条件の抽出と類型化

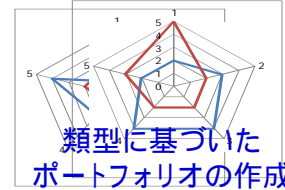
調査都市

ハノイ・ダナン・フエ(ベトナム), クルナ(バングラデシュ), バンコク(タイ), キャンディー(スリランカ), カトマンズ(ネパール), ジョホール(マレーシア), 深圳(中国) など

典型サイト踏査, 行政聞き取り, 2次データ収集  
→流域情報, インフラ状況, 経済・文化, 技術・体制, 基礎定量データ等の把握

KJ法を援用した参加型手法による, 地域ごとの制約条件の抽出・構造化  
→現地の多様なステークホルダーを介した, 現場に立脚した要素のあぶり出し

質問紙調査, サンプル調査  
→基礎的定量データの獲得



制約条件の類型例

- 汚水・廃棄物排出特性
- モニタリング体制
- インフラ整備
- 処理技術
- 水災害
- 行政・政策
- 住民意識
- 水資源への影響
- その他特殊条件 (スラム, 工業地帯)

各都市の特色を適切に把握できる, 汎用性を踏まえた制約条件の類型化

制約条件の類型に基づいた各都市の汚水管理ポートフォリオの作成

## 2. 技術的観点からの制約条件の類型化

日本および諸外国の液状廃棄物管理の経験の調査  
途上国に適用可能な液状廃棄物処理技術・システムのレビュー

技術に由来する制約条件の抽出・類型化, および制約データの収集

## 3. 具体的検討のための数都市での重点調査

液状廃棄物の発生量・性状調査  
→液状廃棄物ストリームの作成

適正処理の潜在的な駆動力としての液状廃棄物由来の有価物を含めた, 物質フローの作成

< 固形廃棄物研究との効果的な連携 >

## 4. 代替案の設計・評価と戦略構築プロセスの提案

日本での経験も踏まえた処理システム整備の課題の抽出 (重点都市を対象)

資源循環・温暖化対策とのコベネフィットの観点に注目

代替システムを設計

整備の波及効果を踏まえた実現可能性の評価, 検討

現地の制約条件に基づいた効果的な衛生改善戦略を構築する, 汎用性のある手順の提案